

特定非営利活動法人
日本健康太極拳協会
神奈川県支部
(楊名時^{八段錦}
太極拳 友好会)

洪太極

師家・楊名時先生 揮毫

第40号

発行人 神奈川県支部 支部長 久保田 博子
編集人 神奈川県支部 理事 結城 靖博

2022年2月10日発行

年頭の御挨拶

コロナ禍の中で晴れ間が見えてきました！

神奈川県支部長 久保田 博子



第19回支部総会にて、神奈川県支部役員一同

明けましておめでとうございます。

会員の皆様方にはご家族お揃いで新しい年をお迎えになったこととお慶びを申し上げます。

コロナ禍により支部としての諸行事は書面による総会と支部交流研修会が、皆様方の同心協力をいただき、滞りなく開催できましたことに感謝申し上げます。

一昨年の10月頃から長いことコロナウイルスの不安から休会していた方々が1人、2人と教室に顔を出してくださり太極拳を再開していますが、皆様の教室ではいかがでしょうか？

「ああ、この方の心の中の太極拳への意欲は継続し、一緒に太極拳を楽しむ機会を待っていたのだ」と、確信を持ちます。そして、その都度教室の輪が強くなっていくのを感じます。楊名時師家や楊慧先生の書籍中の言葉「不怕慢 只怕站」(「ゆっくりやるのはかまわ

ないが、立ち止まってはいけない」の意。楊名時師家著『太極拳のゆとり』より) そのものなのだと嬉しくなります。

先頃本部主催のリモートでの会議に参加しました。コロナによる状況の変化は、今までの慣習をより合理的にしてくれると思います。でも、太極拳だけは、皆さんと集まることによる気の高まり、息づかいや動きによる気配、この一つ一つが心を強くし元気にしてくれるのです。コロナ禍の雲の切れ目が晴れ渡ることを願い、健康・友好・平和をめざしましょう。また、今年実施される神奈川県支部創立20周年の祝賀行事で、神奈川県支部の継続と太極拳を続けている自分自身の継続をお互いに祝いましょう。

簡単ではございますが、年頭のご挨拶に代えさせていただきます。